



日本一人口の多い村 よみたんそん  
人口41,408人 (令和元年6月末)

78号 2019年6月  
定例会

# 議会だより



議会では議員のみなさんが読谷村の一人一人の暮らしが良くなる様に調査をしたり意見を聞いたりみんなの代表としてがんばってください。

くりたの  
題字：栗田 琉夢  
(古堅小学校6年)

## 主な内容

◎一般質問……………p 6

2019年(令和元年9月発行)  
撮影：城間真弓委員



## 平成31年 第485回 臨時会 議決結果 平成31年4月4日

件 名	議決結果
米軍普天間飛行場所属のUH1Yヘリによるつり下げ訓練 に対する抗議決議	可 決
米軍普天間飛行場所属のUH1Yヘリによるつり下げ訓練 に対する意見書	可 決

## 平成31年 第486回 臨時会 議決結果 平成31年4月23日

件 名	議決結果
平成31年度読谷村一般会計補正予算（第1号）	可 決
専決処分の承認（読谷村税条例等の一部を改正する条例） を求めることについて	承 認
専決処分の承認（読谷村国民健康保険税条例の一部を改 正する条例）を求めることについて	承 認
米軍人による北谷町における女性殺害事件に対する抗議 決議	可 決
米軍人による北谷町における女性殺害事件に対する意見書	可 決

## 令和元年 第487回 定例会 議決結果 令和元年6月11日～20日

件 名	議決結果
令和元年度読谷村一般会計補正予算（第2号）	可 決
令和元年度読谷村国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	可 決
令和元年度読谷村後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	可 決
令和元年度読谷村下水道事業特別会計補正予算（第1号）	可 決
読谷村ふるさとづくり寄附金条例の一部を改正する条例	可 決
読谷村附属機関に関する条例の一部を改正する条例	可 決
読谷村海水浴場の設置及び管理に関する条例の一部を改 正する条例	可 決
読谷村先進農業支援センター管理施設の設置及び管理に 関する条例を廃止する条例	可 決

③ 読谷村議会 だより

件 名	議 決 結 果
読谷村先進農業支援センターの設置及び管理に関する条例	可 決
読谷村個人情報保護条例の一部を改正する条例	可 決
読谷村災害対策本部条例の一部を改正する条例	可 決
読谷村固定資産税の課税免除に関する条例の一部を改正する条例	可 決
読谷村立幼稚園一時預かり保育料条例の一部を改正する条例	可 決
渡具知木綿原線の村道認定について	可 決
令和元年度村道比謝牧原線整備工事請負契約について	可 決
物品供給（令和元年度小学校ICTパソコン教室機能強化事業）契約について	可 決
宇座コミュニティ施設建築工事請負契約について	可 決
固定資産評価員の選任（古堅泰信氏）について	同 意
平成30年度読谷村繰越明許費繰越計算書（一般会計）について	報 告
平成30年度読谷村事故繰越し繰越計算書（一般会計）について	報 告
平成30年度読谷村水道事業会計予算繰越報告について	報 告
令和元年度沖縄県町村土地開発公社事業計画及び予算の報告について	報 告
読谷村大湾東地区の新しいまちづくりについての要望書	採 択
閉会中の継続審査及び調査申出について ○総務常任委員会 ・総務行政に関する事務調査 ○文教厚生常任委員会 ・平成30年 請願第1号 トリイ通信施設における遺跡を原位置保存することに関する請願 ・障がい者の現状と課題について ○建設経済常任委員会 ・世界遺産座喜味城跡バッファゾーンの環境実態調査	決 定

# 意見書・抗議決議

◎米軍普天間飛行場所属のUH1Yヘリによるつり下げ訓練に対する抗議決議・意見書 **賛成多数で可決！**

◎米軍人による北谷町における女性殺害事件に対する抗議決議・意見書 **賛成多数で可決！**

## 第12回村民との意見交換会及び議会報告会

日程	時間はいずれも 夜7時から8時30分まで			
	会 場			
	A 班	B 班	C 班	D 班
7月2日(火)				渡具知公民館
7月3日(水)	比謝公民館	楚辺公民館	比謝団地自治会集会所	座喜味公民館
7月4日(木)	高志保公民館			大湾公民館
7月5日(金)		古堅公民館		
7月6日(土)				
7月7日(日)			長田公民館	牧原公民館
7月8日(月)				
7月9日(火)	大添公民館	横田自治会集会所	伊良皆公民館	
7月10日(水)	大木公民館	都屋公民館	長浜公民館	
7月11日(木)	瀬名波公民館	喜名公民館		

上記の日程で行いました。多数のご参加、ご意見ありがとうございました。



# ★ 一 般 質 問 目 次 ★

## ● 上地 榮 (P6)

1. 地域防災の推進に向けて  
(他 5 つの質問)

## ● 國吉 雅和 (P6)

1. 行政区改善等について  
(他 4 つの質問)

## ● 大城 行治 (P7)

1. 読谷村における指定管理制度を問う  
(他 2 つの質問)

## ● 長濱 宗則 (P7)

1. 読谷村の観光振興について  
(他 3 つの質問)

## ● 比嘉 幸雄 (P8)

1. 固定資産税の実態とは  
(他 3 つの質問)

## ● 山城 正輝 (P8)

1. 県道12号線座喜味ナカヌカー橋工事の進捗は  
(他 7 つの質問)

## ● 城間 真弓 (P9)

1. 2014年に読谷補助飛行場跡地で発見されたダイオキシン問題を問う  
(他 3 つの質問)

## ● 松田 正彦 (P9)

1. 施政方針から包括的コミュニティづくりの推進を  
(他 1 つの質問)

## ● 津波古菊江 (P10)

1. ゴミ問題について  
(他 3 つの質問)

## ● 山内 政徳 (P10)

1. 景観条例と海岸地域の避難場所について  
(他 3 つの質問)

## ● 上地利枝子 (P11)

1. 本村における障がい者雇用率2.5%について今後の対応は  
(他 5 つの質問)

## ● 當間 良史 (P11)

1. 子どもたちを口腔崩壊から救うために  
(他 1 つの質問)

## ● 與那覇徳雄 (P12)

1. 国民健康保険税について問う  
(他 3 つの質問)

## ● 神谷 嘉栄 (P12)

1. 学童クラブ (放課後児童クラブ) について  
(他 3 つの質問)

## ● 城間 勇 (P13)

1. 古堅南小学校の校舍改築計画に向けて  
(他 2 つの質問)

## ● 仲真 朝雄 (P13)

1. 村立幼稚園おやつ等の事故 (異物混入) の対応マニュアルの進捗は  
(他 4 つの質問)

## ● 松田 昌邦 (P14)

1. 防災について  
(他 3 つの質問)



詳しくは読谷村ホームページの議会 (LIVE&映像ライブラリ) で動画が観れます!!

よみたん④

知っていますか？  
行政区画のこと



くによし まさかず  
國吉 雅和

**自治会は村づくりの根幹**

**問** 行政区改善の目的は

**答** 行政情報を等しく村民へ提供し、村づくりに参加する機会をつくり、地域福祉、防災活動等を推進する。

**問** 読谷村の住民の推移は（人口・世帯数・自治会加入率）

**答** 1972年・22,511人・4,307戸・93.5%から2018年・40,108人・16,097戸・50.1%です。

※将来の最多人口は2045年に44,342人を想定

**放課後児童クラブの整備は不可欠**

**問** 県内で公民館を利用した学童クラブは

**答** 名護市・うるま市・金武町・宜野座村で合計14クラブです。

**幼児教育・保育の無償化について  
（幼稚園と認可外保育園）**

**答** 0歳児～2歳児の対象は76人、対象外は646人で、非課税世帯が対象です。3歳児～5歳児の対象は1,147人で対象外は169人。

無償化対象は、幼稚園の午前の教育の部分は含んでいますが、午後の一時預かりと認可外保育園は、保育の必要性が認められると無償化の対象です。

**問** 無償化にともない懸念されることは

**答** 次年度の村負担額の約5,000万円が地方交付税で補填されるかどうかです。

**スポーツコンベンションと観光誘致事業は**

**答** 7年間で観光振興事業費は、28.4億円で一括交付金の45%を占める。

**村の環境問題**

**答** 村の水道水は、北部のダムを水源とする石川浄水場にて、浄化処理配水されるので村民への影響はない。

**答** 嘉手納弾薬庫内に一時保管されていた米軍廃棄物は撤去されている。

**答** 学校敷地内に保管していた変圧器等は、委託業者によって搬出完了している。



野積された廃棄物



うえち さかえ  
上地 榮

**地域防災の事業の推進**

**問** 地域防災計画の見直しのポイントは

**答** 道路管理者による放置車両の移動や特別警報、震災廃棄物の処理等が追加されている。

**問** 防災意識の啓発のため村全体で防災対策総合訓練の計画はあるか

**答** 災害対策本部の初動訓練を実施する。

**楚辺地域にある産業廃棄物処理施設**

**問** 産業廃棄物の雨水による地下水汚染は

**答** 水質検査の結果、環境基準値内である。

**問** 産業廃棄物を焼却する際、800度以下になるとダイオキシンが発生すると云われるが、現状はどうなっているか

**答** 焼却温度は800～1000度の範囲で焼却されている。

**地域おこし協力隊の設置推進**

**問** 南さつま市、南九州市においては当該協力隊を設置して地域おこしに貢献している。本村も設置できないか

**答** 県内でも18市町村で70名の方が派遣されている。今後の活用の可能性について調査している段階である。

**空き家対策の現状と対策は**

**答** 空き家の数は860戸で空き家率は6.6%である。対策として「新たな住宅セーフティネット制度」を県と足並みを揃えて取組む。

**非正規職員の現状と待遇改善は**

**答** 今年の6月現在、非正規職員は嘱託職員197名、臨時職員130名で合計327名、正規職員は273名となっている。待遇改善については会計年度任用職員制度の設計の中で検討している。

**孤独死の現状とその対策**

**答** 孤独死の明確な定義はなく、過去3年間、把握されてない。高齢者単独所帯が年々増加する中、現在活動中の地域支え合い活動等の推進強化があげられる。





後継者不足により機械化が必要なサトウキビ農業（写真 南大東島）



ながはま むねのり  
長濱 宗則

### 読谷村の今後の観光振興を問う

**問** 観光が読谷村の地域経済に及ぼす効果は

**答** 観光入込数は年間200万人前後で推移している。村内の地域経済効果は算出できていない。

**問** 観光増に伴う課題は

**答** オーバーツーリズムが引き起こす、交通渋滞、騒音、ゴミ問題、環境破壊等と、それらを原因とした地域住民と観光客のトラブルが考えられ対応策も必要となる。

### 読谷村の財政状況は健全か

**問** 地方債(借金)の30年度末見込額は

**答** 普通会計で89億6,274万3,000円

**問** 今後、地方債の予定は、その内容は

**答** 令和元年から5年間で38億150万の発行予定、内訳は古堅南小学校の改修工事、村道整備、防災無線整備、大木土地区画整備、読谷調理場の改修工事、大湾土地区画整備を起債予定。

### 読谷村民の健康状況は

**問** 特定検診率が目標に届かない要因は

**答** 毎年受診する習慣化ができていない。また、定期的な通院だけで終わっている。

### 読谷村のサトウキビ振興の支援対策は

**答** 生産農家の高齢化と継続者不足が大きな課題と認識している。

**問** 課題を解決するために村として具体的な取り組みは

**答** 新たなハーベスター導入、優良品種の確保、欠株対策等で振興を図っていく。



入院施設のある病院誘致を早急に！



おおしる ゆきはる  
大城 行治

### 読谷村の指定管理者制度について

**答** 指定管理者制度を導入している公の施設は33か所である。過去、指定取り消しの施設は、残波岬いこいの広場であるが、現在他の法人が指定管理で運営している。満期を終了して指定管理を行わない施設が「バイオディーゼル施設」「センターハウス」「農産物加工施設」で担当課直営である。又今後指定管理を予定している施設は、「宇座コミュニティ施設」「ユンタンザパークゴルフ場」「(仮称)喜名放課後児童クラブ支援施設」である。

**村長** 公の施設は、村民がいかに快適に施設を利用できるのかということが最低条件である。議論を深めていきたい。

### 平成28年マスコミ報道で、救急や高度な専門医療を提供する「急性期病院」を読谷村に設置をとあったが、進捗状況は。

**答** 中部医療圏において急性期病院の読谷村への設置は病床数等の関係から非常に厳しい状況である。西海岸における急性期病院の必要性を訴えているが4市町村で要望している200床の急性期病院は大変難しい。

**問** 入院施設のある病院誘致は村民が等しく待ち望んでいる施設である。今後の動きは

**答** 県や中部医師会を含めて各種医療機関と協議を重ねている。読谷に入院施設のある病院を誘致するため、引き続き粘り強く取り組んでいく。

### 読谷村子ども居場所事業について

**答** この事業は3年目になる。昨年度委託先は2か所の事業所だったが、今年度は1か所にする。将来自立した大人を目指す支援を目指す。現在委託先を検討しているが、まだ決定していない。直営も視野に入れながら検討していく。



“いつまで続く通行止、丁寧な説明と対策が求められる”



やましろ せい き  
山城 正輝

### 県道12号座喜味橋工事設計中・7月契約へ！

**問** 工事期間中は、いつまでの予定か

**答** 業者が決まった際に地元説明会をするという。その時に出るかと思う。

**問** 村民への不便解消と営業補償等は、どう考えているか。

**答** 案内看板対策を講じている。更に必要なら関係者と20店舗も含め、適時対応する。

### 野良猫不妊事業、今年度から導入！

**問** 2018年の質問以降の取り組みはどうなっているか

**答** ボランティアの方々と協力、動物基金を活用し、17件17匹の手術を行った。今後とも意見交換し進める。

### 高齢難聴者の補聴器購入補助は、国基準に合わせて考える！

**問** 補聴器は高価であり、本腰を入れて助成すべきではないか

### トリイグリーンベレー基地建設、不安対応！

**問** 全国紙によると、19億9,000万円で車庫や武器整備施設工事というが、どういうものか

**答** 防衛局、トリイは確認できなかった。

### PFOS等調査、関係町村と連携で！

**問** 読谷村側調査を村単独でも実施すべきではないか

### 座喜味公園交通対策、看板ポール等判断！

**問** 公園名を修正すべきではないか

**答** 関係者の意見を聞きながら対応。

### 座喜味ナーカヌカー清掃、担当部局と協議！

**問** ダム管理上、世界遺産景観上、対策すべきではないか

**答** 住民と行政の協働で維持管理対策を検討していきたい。

### 座喜味ナーカヌカー木道修繕、検討！

**問** 2017年質問以後の取り組みはどうか

**答** 補修工事实施。経年劣化で腐食破損の可能性高く、現在、通行止状態。



観光客増への施策は



ひ が ゆき お  
比嘉 幸雄

### 固定資産税について

**問** 固定資産税増額決定の説明を求めます

**答** 評価額をもとに算出した課税標準額に税率を乗じた税額を合計し金額を決定した。ここ数年は結果として調定額が増加している。

### 成年後見人制度

**問** 独居の高齢者が消費者被害や振り込め詐欺被害に遭ったり、福祉サービスを利用出来なかったりするおそれがあることから担当部署職員の研修などで制度の周知に取り組み、支援が必要な住民を掘り起こす必要はないか

**答** 同制度の周知については福祉課、各種会議、広報誌で行っている。社協、福祉施設、民生委員の方々からの情報にて対応している

### 座喜味城跡の観光振興

**問** ミュージアム観覧者の勧誘に関し、旅行会社や観光バス会社との提携、積極的な宣伝活動が考えられる。入場者増の施策を問う

**答** FM読谷での広報、報道には展示会等の取材、ホテルにはパンフレットを置いている旅行会社やバス会社への宣伝は課題である。

### 新病院建設の進捗状況

**問** 中部地域西海岸（読谷村）に新病院建設が動き出しているが進捗状況を問う

**答** 県医療政策課と医療制度等について協議している。関係機関との協議を継続する。

**問** 回復期の病院整備の可能性はあるととらえてもいいか

**答** 回復期の病床は不足している。読谷でも確保していきたい。

**問** 災害時の医療体制を強化できるような災害拠点病院の新設は出来ないか

**答** 災害拠点病院や救急診療所等、県にもアプローチを行い村民の福祉向上のため取り組んでいきたい。





自治会加入促進

まつだ まさひこ  
松田 正彦

### 包括的コミュニティづくりの推進を問う

**問** 行政区改善から何年経過しているか

**答** 平成26年4月1日より実施され5年が経過している。

**問** これまでの評価と課題は見えてきたか

**答** 村全体への広報誌等の行政情報を等しく村民に提供することが出来た。課題は制度の認知度が低いことが挙げられる。

**問** 自治会加入促進の具体的な取り組みは

**答** 転入転居の際住民年金課窓口でのチラシ配布と自治会活動紹介展示を村民ホールで行い、公報よみたんで各自治会の紹介ページを設けている。

**問** 地域振興交付金の総額1億1千600万円は何年動いてないか

**答** この交付金の総額につきましては制度当初から変更はかけておりません

**問** 横間自治会が増えても総金額の変更はないのか

**答** 横間自治会への交付金も全体への総額予算に含まれています。

### 大湾東地区の新しい街づくりを問う

**問** 区画整理事業終了年度は

**答** 令和3年度事業完了予定。

**問** 当初計画の新しい街の世帯数と人口は

**答** 当初計画での将来戸数650戸、人口は2,080人を想定している。

**問** 大湾東地区将来戸数650戸は今後の行政区と自治会形成はどうなるか

**答** 今後の検討課題となる。

**問** 将来戸数650戸の村税、固定資産税の将来見込み額はいくらか

**答** あくまでの概算として、単純計算で8,450万円

**問** 電線、ケーブル入管完了年度は

**答** 予算確保と人員配置等が厳しく遅れる

**問** 村は今後、組合をどう支援するか

**答** 速やかな入管開始の要望を行う。

ダイオキシンを含む廃棄物が  
コンクリートで被覆された現場しるま まゆみ  
城間 真弓

### 安全・安心N01の村づくりを！2014年米軍補助飛行場跡地で発見されたダイオキシン問題を問う

**問** 今現在の状況、対応は

**答** 現在もコンクリートにより汚染土壌の被覆を行い、飛散防止対策を行っている。

**問** 今後の対策と方針は

**答** コンクリート被覆された箇所の定期的な目視による点検を行い、現状保全の維持管理に努め、国などに当該廃棄物の対策処理に係る費用の負担等を求めていく。

### 性的マイノリティ（LGBT）に対する理解を広げ、基本的人権が保障される社会を

**問** 性的マイノリティの人権保障や、支援に関する条例を本村でも制定してはどうか

**答** 他市町村の事例を含めて調査、研究を行っていきたい。

### 「命どう宝！」今こそ重要な平和学習、平和行政の取り組みを問う

**問** リゾートとしての観光だけではなく、村内のさまざまな歌碑やガマの歴史等をしっかりとして学ぶことのできる平和観光としても力を入れるべきでは

**答** 村内外の皆さんも含めて、今文化振興課でも色々な説明版等もできているので、より効果的な説明をしながら多くの方々が訪れるように取り組んでいきたい。

### 働きやすい職場づくりを！2020年に導入される「会計年度任用職員制度」とは

**問** この制度が施行されると、改正前と何がどう変わるのか。予算への影響は

**答** 現在、本村における一般職の非常勤職員である臨時職員と特別職の非常勤職員の嘱託職員が、制度施行後はほとんどが「会計年度任用職員」に移行し、給与の支給方法や勤務条件が変わっていくことにより、人件費の増加が見込まれる。

幼保無償化の対象年齢



やまうち まさのり  
山内 政徳

防災について

問 景観条例と海岸地域の避難場所について津波の高さに対して建物の高さは適切か

答 景観条例と避難ビルとの話は、すぐには結びつかないと思っており、開発の許可の中で、そういったことが緩和できるのか等々、後日きっちりと検討する。現時点では答弁できない。

問 観光防災力強化支援事業について本村の観光客数は

答 読谷村人込客数調べでは約195万人。

問 観光防災支援の予算配分は

答 1,816万円（9割補助）事業促進費として299万円（定額補助）を申請している。

問 観光客何名を想定して準備をしているのか。

答 村としては支援する観光客数を850人というふうに設定しており、850人の3日分を想定している。

子育て支援について

問 子育て世代包括支援センターの設置について。全国的な設置状況は

答 2018年4月1日現在、実施市町村は761、設置数は1,436カ所となっている。

問 本村はどう考えるか。

答 村としても令和2年度内を目指して検討している。

問 幼児教育無償化について本村の取り組みは怎么样了のか。また待機児童については怎么样了のか

答 現在のところ3歳児から5歳児が対象であり、現在のところ待機児童はいません。

問 給食についてはどうなるのか

答 幼児教育・保育の無償化後についても負担の方法は変わりますが、保護者の方に実費を負担していただく。本村も国と同様に進めていく。



安全な飲料水確保のため  
早急な検査を！



つは こきくえ  
津波古菊江

ごみ袋の一元化でコストダウンと減量化

問 環境美化センター（構成町村読谷村、嘉手納町）にエコステーションを設置しゴミ袋の大量発注を行うと値段が安くなりMサイズのひもつき袋が可能となり読谷、嘉手納町民も利用出来、ゴミ減量化の一助となる事から両町村のゴミ袋の一元化を図る事は可能か

答 ごみ行政は読谷村、嘉手納町でやっている。担当者や両首長も含めて協議したい。

問 業者の方々との意見交換会の内容は

答 意見として事業系と一般ゴミ袋をわける事。特大ゴミ袋の廃止について。スプレー缶の回収日の変更等が議題になった。

有機フッ素化合物が長田川取水場で検出された事で長田川、比謝川、渡具知海岸への影響は

答 長田川については県企業局が調査を行う。又、下流堰の撤去と可動堰の設置はH33年度まで事業を行いポンプ場からの取水は継続。渡具知海岸は一般海岸なので調査等は行っていない。

問 地域防災指定避難場所で渡具知区内の避難場所タワーマンションへ案内板設置は可能か

答 所有者と協定を締結している2棟のビルについては所有者と協議を行い設置できる様に取り組みたい。

問 社会教育団体（婦人会、子ども育成会、青年会）の衰退と役員の子育てについて

答 加入団体数、会員数が減少しており各種団体の横連携の強化や役員との意見交換を行い加入促進や体制を強化して各種事業への取り組みを始めている。

問 地域の特性を生かした公民館講座で地域活性化が図れないか

答 プログラムの講座の組み方も大切だが主体は自治公民館である。





口腔崩壊から子供達を守ろう！

とうま りょうじ  
當間 良史

### 子どもたちを口腔崩壊から救うために

**問** 歯科検診で10本以上虫歯のある児童数と虫歯予防のための指導方法は

**答** 10本以上虫歯のある生徒は小学生25人、中学生33人、合計58人。虫歯にならないよう養護教諭と学級担任が連携してブラッシング指導を行っている。

**問** 虫歯予防に効果のあるフッ化物洗口（フッ素うがい）についての考えは

**答** フッ化物洗口については、その有効性は国内外の研究により示されているが学校等における集団応用の場合は、安全面での留意点が多いことや本人及び保護者の同意を得る必要があることから学校での指導はおこなっていない。

### きれいな海を守るために

**問** 本村の下水道整備の現状と今後の計画を問う

**答** 本村の下水道事業は、読谷村下水道事業が平成2年度に事業着手、流域関連公共下水道においては、平成8年に伊佐浜処理区への事業を進めている。平成31年3月末の人口普及率は24.7%で今後大木区画整理区域の整備を進めていく。

**問** 現在の状況では読谷村全域に下水道が整備されるのに50年以上かかってしまう。そこで、民間の企業を活用したPFI（公共施設等の建設、維持管理及び運営に民間の資金とノウハウを活用）を導入しては

**答** 下水道整備は本村の非常に大きな課題と認識している。いろんな方法論を使いながら、今後の行政需要も含めて、下水道事業ができるだけ早く実現できるような施策を調査、研究していきたい。PFI方式についても勉強会等を行っていきたい。



村道中央残波線防犯灯設置を早急に！

うえちりえこ  
上地利枝子

### 障がい者雇用の現状はどうなっているか

**問** 本村の障がい者雇用率2.5%に達してないとの新聞報道に対する対応は

**答** 村長部局では雇用率を満たしている。人数に対して3人。教育長部局において、平成30年度は雇用率満たしていなかったが、現在は満たしている。

### 子育て包括支援センター設置状況

**問** 子育て環境が社会的に課題になっているが社会福祉協議会や民生児童委員、特に地域、自治会との連携についての考えは

**答** 令和2年度内に設置を目指している子育て世代の方たちが自治会に加入している、していないにかかわらず、垣根のない社会、福祉協議会や民生児童委員とのかかわりもすごく大事だと思う。地域では加入未加入関係なく近くに住んでいる方々で対応している。

### 村道中央残波線への防犯灯を早急に

**答** 必要性は認識している。今後財源確保に向けて他の要望箇所も含め検討する。

### 波平東門交差点信号機設置要請の状況

**問** 嘉手納警察署と協議状況

**答** 嘉手納警察署から沖縄県警察本部へ上申中である。

**問** 旧読中跡地に大型店舗オープン後の対応についてどのように考えているのか

**答** オープン後は交通量も増えると思いますので県公安委員会に要請している。

### 本村不登校生徒の人数と対応について

**答** 小学校で25人、中学校で57人計82人。対策については学校での居場所づくり。魅力ある学校づくりを推進。登校支援の為生徒個々の状況に応じた対応をしている。

### スクールソーシャルワーカー配置と活用

**答** 村の青少年センターに1人配置し教育相談担当へ助言コーディネートを行っている。



逆走車両を見受ける交差点



かみや かえい  
神谷 嘉栄

**学童クラブの今後**

**問** 喜名小学校区へ設置される学童クラブの進捗状況は

**答** 7月中に工事及び施行管理の入札を行い、令和2年2月末の完成を予定している。

**問** 今後の学童クラブの設置計画は

**答** 読谷小学校区内は令和2年度内の設置に向けて取り組んでいる。渡慶次小学校、古堅小学校区域内については、用地や財政的な課題もあることから、今後の整備計画について検討する必要がある。

**旧渡慶次給食調理場の今後**

**問** 現在、旧調理場はどのような状況か

**答** 廃止に伴う厨房機器の再利用するものと処分するものの整理を進めている。

**問** 今後、旧調理場の利用計画はあるのか

**答** 現時点で具体的な利用計画はないが、今後関係部局と跡地利用について検討する。

**問** 学童クラブとしての活用はできないか

**答** 学童クラブも含めて相談していきたく。

**読谷まつりの進貢船の状況**

**問** 進貢船にブレーキオイル漏れで運転に支障があったが、その後の進捗状況は

**答** 整備業者へ確認を行い、修理が可能であることから予算成立後、速やかに行う。

**問** 保管方法や安全点検はどう行うのか

**答** 体育センター横の倉庫に格納しており、定期的に始動確認し、安全点検については、読谷まつり約1ヵ月前に行っていく。

**村道残波線入口付近の逆走車両**

**問** 村道残波線が県道6号線と交差する付近で伸びた雑草によってか右折標識が見えにくいため、逆走車両が見受けられる。除草と注意喚起の方策はないか

**答** 中部土木事務所より除草は年2回実施。また安全性を確保するため今後、調査・設計業務を行い対応策を検討。



スピード超過が見られる  
渡慶次公民館広場入口



よなは のりお  
與那覇徳雄

**平成29年度の一人当たりの医療費は**

**答** 一人当たりの医療費は、285,524円

**問** 国民健康保険税が県統一になっていくとのことだが、現況と今後の課題は

**答** 令和6年度統一保険料導入に向け、各市町村国民健康保険特別会計の赤字解消に取り組んでいる。給付サービスに向けた保険料の減免基準や保険料すり合わせが課題。

**「読谷こぼと幼稚園」新聞報道について**

**問** 今回の事態をいつ把握したか、運営資金（補助金）は、村を經由しての補助金か

**答** 4月16日村民から保護者説明会の内容の情報を得る、県から直接補助である。

**問** 幼稚園に対しての指導監査と今回の運営トラブルに対して、村の見解を伺う。

**答** 沖縄県が毎年、対象園に実施。直接の管理下でないことで積極的な指導はできない。当園児達が安心して保育が受けられるように努めて頂きたい。県と連携し情報把握、保育難民にならないよう対応を準備。

※幼児を持つ保護者に動揺が広がったことに対し、真摯に受けとめることを要望する。

**渡慶次公民館広場の出入り口と渡慶次幼稚園に入る通学路の安全対策として数十メートルの全面カラー舗装ができないか**

**答** 注意喚起が有効であるが、総合的な状況を判断した上で、効果的な対策を講じていきたい。外側線のカラー舗装について学校や自治会長の要望を聞き実施予定

**屋根付きパーゴラの有効活用の考えは**

**答** 陸上競技場や運動広場でソフトボール等のベンチとして活用している。

**問** 6月21日の読老連ゲートボール大会での使用・活用を呼びかけてはどうか

**答** 利用する団体等がなければ使用可能。

**問** 各種団体等との活用方法の協議は

**答** 毎年、各種団体等と意見交換会で説明





読谷まつりサブグラウンドで行われているジュニアフェスタ



なかま あさお  
仲真 朝雄

### 補食（おやつ）への異物混入

**問** 公立幼稚園おやつ等（異物混入）の事故の対応マニュアル整備。その進捗を問う

**答** 発注業者へは、衛生管理の徹底をお願いしているところ。村の学校給食異物混入対応マニュアルに準ずる対応を行うとともに幼稚園職員が即時に対応できるよう、異物混入発生時マニュアルを作成（案）し各園に配布、確認をしている。早い段階で最終的に仕上げる。

**問** 動物愛護法が強化され、村も条例を改正した。それらの主旨を生かすための住民への啓発活動の現状と今後の取り組みは

**答** 従来の取り組みに加え、沖縄県等とも連携を拡充していく。

提言＝ボランティア団体にも豊富なアイデアや意見がある。連携強化をすべき。TN活動への地域の理解を得る活動も行政も一緒に推進してほしい。

**問** 不登校でユーチューバーの少年の新聞記事が課題である。法的な義務教育のあり方はどのようなものか

**答** 憲法と法律において権利と義務が明確である。この記事の内容には賛否ある。本村として関係法令に基づき、本村全ての児童生徒に対して普通教育を受けさせる方針のもと不登校問題に取り組んでいる。

**問** 読谷まつりサブグラウンド開催のジュニアフェスティバルの場所について

**答** 開催の多目的広場については、以前はメイン会場と比較して周辺は暗く青少年にとって好ましくない場所であった。そのため青少年の健全育成のため平成16年度から子どもたちの発表の場とすることで、参加機会の提供や居場所づくりを目標としている。会場自体の変更の議論はない。

※その他、高齢者や障がいを持つ方等のツーリズムについて質問した。



老朽化した古堅南小学校の校舎改築計画が行われている



しろま いさむ  
城間 勇

### 古堅南小学校の校舎改築計画に向けて

**問** 基本設計、合意形成、実施設計、工事等のスケジュール案、工事予定期間、工事費の総額予定は

**答** 基本設計につきましては、6月末をめどに作業を完了する予定。令和2年度において実施設計を行い、令和3年度から建築工事を行いたい。工事期間は約2年を見込んでいる。工事費は最近の近隣市町村の事例等を参考に平方メートル単価を算出したところ、30億円前後になるのではないかと考えている。

### 村内の公園の環境管理について

**問** 座喜味城公園、ユンタンザミュージアムの駐車場近くに屋外トイレ設置を

**答** 今年度予定しているミュージアム南側駐車場実施計画業務の中で、屋外トイレについても検討をしております。

**問** 泊城公園内の木製の階段、部分的に腐食して現在立入禁止となっておりますが、改修の目処について

**答** 階段を登った岩肌に亀裂が見られることから、改修又は廃止の両方で検討したい。

### 国道読谷道路、村道泊城線、村道古堅～渡具知線の除草対策について

**問** 国道読谷道路、大木～古堅線歩道沿いと、住宅と隣接した国道の用地部分に雑草やススキ、ギンネム等が生い茂っている。除草作業が必要

**答** ご指摘の場所も南部国道事務所へ写真と位置図を添えてお渡ししています。

**問** 村道泊城線、村道古堅～渡具知線の歩道沿いに雑草が繁茂している。児童生徒の通学路でもあり、除草作業が必要

**答** 村道泊城線はシルバー人材センターと委託業務の契約を本日行いました。村道古堅～渡具知は担当部署のほうで対応。

## 変わる議会広報を 目指して

### 『誰のため、何のための 議会広報が!!』

昨年議員選挙を受け新しく、議会広報委員会（當間良史委員長他5名）が活動し1年近くが経過しようとしています。

その間2回の「議会だより」を発刊させて頂きました。

当委員会の取り組みとして

まず村民にもっと見てもらえるような誌面づくりとして

一般質問が大部分であった誌面の削減案として記事の1,000文字を約700字以内とした。

今後とも議員力アップや村民の聞きたい事を誌面に生かしていけるよう頑張ります！

（広報委員一同）

### 全国広報研修会で受賞した議会だより



公共用地に花木の植栽を



まつだ まさくに  
松田 昌邦

#### 防災について

##### 読谷村地域防災計画の改正点は

**問** 災害時に道路管理者が放置車輛の移動が可能になる。改正の周知は村広報誌やホームページで行う。また補助事業を活用して避難所に発電機を購入設置を考えている。

#### 本村の観光地周辺景観の整備及び管理状況は

**答** 座喜味城跡へ連結する座喜味公園線、喜名番所前の喜名4号線、ヤチムンの里線が世界遺産周辺整備事業により整備されているシルバー人材による道路及び管理状況は村道11号線、公園2カ所を管理委託している観光地周辺に花木を植栽し気持ちよく受け入れる工夫をすべきではないか提案。

#### 読谷まつりについて

##### 本年度の開催日程とプログラムの決定手順は

**答** 10月26日、27日の開催する。それに先立ち闘牛大会を10月20日に予定している。プログラムの決定は事務局で調整し、必要に応じて実行委員会で諮る。伝統文化の継承に向けて「しまくとぅば」が大事になるのであらゆるアプローチを考えるべき。

#### ふるさと納税の再スタートに伴う対策を問う。

##### 返礼品の種類と人気の商品は。

##### 寄付金を活用した返礼品の開発を

**答** 返礼品は5月末時点で202種類で昨年度はマンゴー、ホテルのペア宿泊券等が人気商品である。返礼品の開発は基本地元事業者が主体となるべきであるが村としては試作開発等の環境が必要であれば協力の検討を行う。

※定期セットの販売が高額納税につながっている事例もあり、今後職員体制も含めて来年度以降前向きに検討を要請する。



## 総務常任委員会

◎6月11日昨年12月定例会に閉会中継続調査を行い調査報告書を提出

事件：読谷村の地域防災についての調査

平成31年2月8日～6月3日まで計7回開催した。

### 提言報告として

- ◎自主防災組織の組織化の推進
  - ◎村全体での防災訓練の実施と防災意識の向上を図る事。
  - ◎災害協定について高層住宅、リゾートホテル、コンビニ等とも協定締結を結ぶ
  - ◎防災の日などには防災グッズの紹介、意識啓発のためのグッズ配布の実施
  - ◎海岸地域において緊急避難場所として国の補助金を活用し防災タワーの建設も検討する事。
  - ◎今後先進地が防災活動を通して地域づくりに活かしており、実施に向けて検討する事。
- 条例の改正

## 建設経済常任委員会



### 渡具知木綿原線の村道認定について審査の経緯と結果

本路線は、村道古堅～渡具知線を起点として、渡具知木綿原501番を終点とする幅員9m、延長約190mの道路であります。

泊城公園と連結した渡具知地域一帯の活性化に寄与する道路としての機能を果たすものであります。渡具知自治会から、村道認定の要請を受けるなど、地域が村民の海浜利用がより一層充実するとともに当地区の景観等と調和する開発誘導を推進するための路線であり、関係地権者（全員）の同意を取り付けることができ条件等が整ったことから、路線を村道認定するものであります。

## 文教厚生常任委員

〈調査事件〉

わんぱく広場の現状と課題について

平成31年1月22日～6月4日まで8回開催

- ◎アンケート調査により保護者からの「わんぱく広場」に対する評価は高く、子ども達の拠点づくりはぜひ必要である。毎日（月～金）開催してもらいたいとの要望も強い。
- ◎大添自治会においては毎日開催しており、登録児童の多さに比較してボランティアの見守り隊が少ない。保護者からはもっと「わんぱく広場」を開催する自治体を増やしてほしいとの意見もあったが自治会によっては利用する各種団体との施設空間の調整の重要性が上がっていた。
- ◎委員の中からは自治会としてではなく、行政区として「わんぱく広場」を取り組めないかという意見もあった。
- ◎小学校への入学と同時に受け皿となる拠点等の少なさが、わんぱく広場への期待の大きさにつながっているのではないかと推測される。
- ◎低学年の児童にとっての放課後の過ごし方については、今後のわんぱく広場の拡充と見守り隊の確保が課題である。

# 座喜味棒術について

(文化 芸能レポート その1)

座喜味棒術の歴史は古く、約500年の歴史を持ち、世界遺産であります座喜味城主護佐丸公（ざきみじょうしゅごさまるこう）の時代から普及したといわれています。

沖縄の棒術は自分達の身を守るだけでなく、集団で村の防衛を果たすものでもありました。現在読谷村には地区ごとに特徴ある棒術が伝わっています。難攻不落といわれた座喜味城（ざきみぐすく）の城下、座喜味地区に伝わる「座喜味棒」は心・技・体を基本とした11種類の型があり何よりも「実戦型」であるのが特徴です。

ボラ（ホラ貝）、太鼓、鐘の乱れ打ちに合わせ6尺棒と3尺棒を自在に操り、常に相手の急所を狙って攻める戦いは、一瞬たりとも目が離せません。特に最後に演武いたします槍（やり）と薙刀（なぎなた）の接近戦は迫力ある戦いです。

また、衣装は伝統工芸品の読谷山花織（よみたんざんはなおり）のウッチャキやミンサー帯など決して他では見られない衣装にも注目です。

座喜味棒保存会は1975年（昭和50年）に結成され、地域の人々により代々受け継がれてきました。演武の披露は、座喜味自治会行事が主ですが、読谷まつりでのスーマチ演武はじめ、東京、ブラジル、ハワイ、韓国、台湾など県外国外でも技を披露することができました。

現在は、伝統芸能の保存、伝承、普及、後継者育成を目的に子ども会へ指導者を送り、継承発展に努めております。子どもたちが棒術をとおして郷土に対する自信と誇りを持ち、地域で活躍できる人材となることを期待して活動しております。



TEL 098-836-2226  
座喜味棒保存会  
事務局 島袋直人

## ご意見

議会の一般質問以外に、答弁が確たるものでなくても今起きている虐待、年金、世間をさわがされている問題について議員さんと村側の方が意見を交わす。そういうのを見てみたい！聞いてみたいです！ぜひやってほしいです。

平和は日常であり、政治は暮らしそのものだと思います。



令和元年度中に完成予定のユバンタ公園整備事業（楚辺）

表紙説明

## りっかりか読谷村議会

6月定例会での傍聴者は、延べ97名でした。

令和元年9月定例議会は9月10日(火)から9月27日(金)まで開会予定。

◎議会の日程についてホームページでお知らせしております◎

読谷村公式ホームページアドレス

<http://www.yomitani.jp>

（お問い合わせ）

議会事務局 TEL 098-982-9225